

化石の島の山頂を目指す

〜獅子島ウォーク2024〜



もうひと踏ん張り、山頂を見上げる参加者

2月4日、獅子島の七郎山山頂を折り返す13キロの「獅子島ウォーク2024」が開催され、あいにくの曇り空となりましたが、約600人の参加者が獅子島を満喫しました。

当日は早朝から参加者が諸浦港や水俣港、中田港から定期船や貸切船などで続々と来島しました。このほか、前日から島内の民宿に宿泊して大会に挑んだ参加者もいるなど島内がにぎわいました。

コース発着点の獅子島アイランドセンター周辺では、獅子島の特産品販売や町内事業者の店があり、活気にあふれていました。

午前10時にスタートすると参加者はそれぞれのペースで獅子島の景色を楽しみながら七郎山の山頂を目指しました。

中継地点では、地元ボランティアからポンカンやあめが手渡され、参加者は疲れた体を癒していました。

薩摩川内市から11人で参加した古谷澄佳さん（中学2年生）は「スタート時は13キロの道のりを完歩できるか不安だったが、獅子島のコースや他の参加者とのふれあいを楽しみ最後はスキップでゴールできた」と達成した喜びを話しました。

午前10時、一斉にスタート



休憩所のポンカンで疲労回復



七郎山山頂からの眺望を楽しむ参加者



薩摩川内市から11人で参加した一行

